

## 連合との幹部懇談会を開催

「with/afterコロナ」時代の働き方・人材を中心とする諸課題の解決

経済同友会は連合（日本労働組合総連合会）幹部との懇談会を2020年12月22日、都内で開催した。連合からは神津里季生会長、相原康伸事務局長ら幹部が出席、経済同友会からは櫻田謙悟代表幹事、橋本圭一郎副代表幹事・専務理事ら、双方合わせて31人（オンライン含む）が、「『with/afterコロナ』時代の働き方・人材を中心とする諸課題の解決」について活発に意見交換を行った。

神津会長は、「今の日本には感染不安と雇用不安が漂い続けており、社会全体の安心感を担保していくことは、待ったなしの重要事項である。感染症対策と経済の復旧は本来、二律背反ではなく、社会の不安を解消することそのものが最重要な経済政策だ」と述べた。その上で、「with/afterコロナの社会像を描く上で、この20年余りの間の格差拡大とそれをもたらした社会構造に対して抜本的なかたちでメスを入れる必要がある。産業構造が変化し、デジタルトランスフォーメーションも進む中、雇用のあり方においては、安心感の持てる労働移動が鍵になる」と語った。

櫻田代表幹事は、「私自身を含め、こ



櫻田謙悟代表幹事

の一年で働き方や暮らし方は激変した。中長期の課題を考える上では、コロナ前には戻らないという覚悟が必要であり、これを日本の飛躍のチャンスとしたい」と語った。

### ■ 両組織の活動エリアは異なるが課題認識は酷似

さらに、「両組織の活動のエリアは異なるが、課題認識は極めて似ているとあらためて感じた。特に、持続可能性という観点で財政を見ると、政府の『成長なくして財政再建なし』は事実だが、過去30年そう言い続けて実現していないという現実も直視する必要がある。将来のためのグリーン投資を増やすことは大賛成だが、その資金を将来世代から借りて行うのはどうなのか。『今度こそ、成長につなげる。今度こそ、新しい日本を創るのだ』という勇気と覚悟が必要で、それを行動に移す年が2021年である。また、持続可能な財政構造を実現するためには、成長だけでは不十分で、今後も拡大が続く社会保障系の歳出については、応能負

担の考え方をもう一歩進めなくてはならない」と述べた。

その後、連合は「with/afterコロナ時代のデザイン～仕事・暮らし・社会の新しいカタチをつくる～」と、経済同友会は「テレワーク導入拡大を契機に、自律的な働き方の推進を」をそれぞれ報告し、意見交換を行った。総括において神津会長は、「with/afterコロナ時代とはそれ以前に戻すことではないという認識を合わせることができたことは大変重要だ」と語った。櫻田代表幹事は、「コロナ禍を奇貨として、日本社会の再設計に向け、立場を超えて中長期を見据えた本質的な議論をする機会と捉えたい」と述べた。



神津里季生会長

No.834  
December 2020, January 2021  
**経済同友会 12・1**

### C O N T E N T S

#### 2021年 年頭見解

イノベーションによって、経済社会の再設計に踏み出す1年に 03

#### 特集

「経済同友会インターンシップ」の新展開 06

#### Close-up 提言

サービス産業の生産性革新PT【提言】  
玉塚 元一 委員長  
サービス産業の課題はコロナ禍を経て  
必要性と緊急度が高まった 14

#### 長崎大学特別寄稿

コロナ禍をどう生き抜くか<下>  
繰り返される  
新型コロナウイルス感染症の  
流行とワクチン開発の展望 20  
森田 公一 長崎大学熱帯医学研究所 所長

#### Doyukai Report

「木材利用推進全国会議」総会、  
オンラインを合わせて開催  
木材への意識を高め、  
広く利用する社会環境を 16  
産業懇談会

メンバーの顔触れに合わせた活動を展開 22

#### Seminar

第1337回 会員セミナー  
試練が続く内外景気の先行き  
山口 廣秀 氏 日興リサーチセンター 理事長 18

第1338回 会員セミナー  
アメリカ大統領選挙結果と今後の日本外交の課題  
数中 三十二 氏 立命館大学 客員教授 19

#### Column

私の一文字 間下 直晃  
「自分の意思で『選ぶ』」 02

リレートーク 藤本 昌義  
「マグロの養殖事業を通じ、地方創生に思う」 13

コペンハーゲン通信  
「日本への土産物～デンマークの程よくオープンで温かい心～」 23

私の思い出写真館 植草 弘  
「『目からうろこ』でスキーにはまる」 27

2021年度 理事 推薦候補者の内定について 24  
新入会員紹介 25

連合との幹部懇談会を開催  
「with/afterコロナ」時代の  
働き方・人材を中心とする諸課題の解決 26